

薬の伝言板

たかんしょう ～多汗症～



No308 2023年7月
丸子中央病院 薬局

「暑くないのに汗をたくさんかいてしまう」「いつも汗がびしょりで人目が気になっている」といった悩みでお困りの方はいませんか？単なる汗っかきとは異なり、「日常生活に差し障るほど本人の意思とは無関係に汗が大量に出てしまう病気」を「**多汗症**」といいます。今回は多汗症のお話です。



多汗症が見られる部位

汗は、皮膚にある汗腺から出ます。はっきりした原因はわかっていませんが、多汗症の人は1つの汗腺から出る汗の量が多く、汗腺の割合も多いことがわかっています。

多汗症には、全身に多量の汗をかく「全身性多汗症」と、手の平や足の裏など局所的に多量の汗をかく「局所性多汗症」とがあります。局所性多汗症は汗をかきやすい部位によって病名が付けられます。

- ^{しょうせき}掌蹠 多汗症 …手の平と足の裏
- ^{そくせき}足蹠 多汗症 …足の裏
- ^{しゅしょう}手掌 多汗症 …手の平のみ
- ^{えきか}腋窩 多汗症 …^{わき}腋の下

原因

主に以下の5つが挙げられますが、一方で発症の原因が特定できないこともあります。

温熱性発汗	運動、高温環境、発熱等によって上昇した体温を下げる際に起こる
内分泌・代謝性発汗	加齢によるホルモンバランスの乱れや甲状腺機能亢進症、糖尿病、肥満症により起こる
精神性発汗	精神的な緊張によって自律神経のバランスが崩れることで起こる
神経障害による発汗	外傷や腫瘍、パーキンソン病等で自律神経が障害されて起こる
薬剤の副作用による発汗	非ステロイド系抗炎症薬やステロイド薬、向精神薬、睡眠導入薬などの副作用により起こる

予防

- 食生活の改善**・・・辛いものや刺激の強いもの、カフェインや紅茶などの摂取を避ける
- 生活習慣の改善**・・・適度な飲酒量を守る、喫煙を控える、十分な睡眠をとる
- リラックスできる時間を作る**・・・心と体を十分に休ませて、ストレスを解消する





多汗症のチェックポイント ※1つでも当てはまれば多汗症の可能性がります。

- とくに暑かったり、運動後ではないのに、原因不明の汗をかいたりすることがある
- 緊張すると、手のひらやわきの下などに異常なほど大量の汗をかく
- 手のひらがすぐに汗ばみ、本やノートが濡れてしまうことがある
- わきの汗じみが常に気になるほど汗をかく、衣類に黄色っぽい汗じみができる
- すぐに滴り落ちるほどの汗をかき、タオルで拭き続ける必要がある
- 靴下がいつも湿っていたり、スリッパを履くと汗だらけになったりすることがある
- 汗の臭いが気になったり、他人から臭いを指摘されたりしたことがある



治療

基礎疾患や薬の使用等が原因であれば、その治療や休薬を行います。主な原因が特定できない場合は以下の治療を行います。症状によって組み合わせて行う場合もあります。



◆ 薬物療法

分類	一般名	効果	適応部位
外用薬	ソフピロニウム臭化物ゲル*	汗腺のアセチルコリンの働きをブロックすることで発汗を抑える	わき・腋
	グリコピロニウム*		手の平
	オキシブチニン*		手の平・足の裏・腋
	塩化アルミニウム液	角層内の汗管とくっつき、発汗の出口を塞ぐ	手の平・足の裏・腋
内服薬	プロパンテリン臭化物*	汗腺のアセチルコリンの働きをブロックすることで発汗を抑える	全身・頭部・顔面
注射薬	ボツリヌス毒素	筋肉の機能を麻痺させて、発汗を抑える (通常、効果は4~9ヶ月程度続きます)	頭部・手の平・足の裏・腋

* 前立腺肥大症、緑内障の方は症状が悪化する可能性があるため、使用できません。

◆ ほかにも…

汗を出す指令を伝える神経を切断する方法や神経ブロック、レーザー療法、電気療法、精神（心理）療法などもあります。

多汗症は適切な治療を受けることで、症状の改善を期待できます。原因は人によって様々ですが、何らかの病気がきっかけで発症している場合もあります。心当たりがある人は早めに病院受診をおすすめします。

